

令和6年4月30日  
国土交通省関東地方整備局  
荒川上流河川事務所  
武州ガス株式会社  
公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

## 武州・入間川プロジェクト

官民連携による市民活動の助成事業の助成団体を選定しました。

令和5年12月1日より募集を開始した、「武州・入間川プロジェクト」(官民連携による市民活動の助成事業)に多数のご応募をいただき誠にありがとうございました。

「武州・入間川プロジェクト」では、第15回入間川環境保全支援委員会を開催し、応募団体の活動内容や助成内容を審査した上、別紙の団体(10団体)を選定しました。

委員会については、WEBと対面のハイブリット形式で開催しました。

### 【武州・入間川プロジェクト】

武州ガス株式会社(企業者)、荒川上流河川事務所(河川管理者)、(公財)埼玉県生態系保護協会(有識者)が主体となり、入間川流域で環境保全活動をされている市民団体等に、活動支援を行う新しい形の官民連携事業です。この取り組みにより、河川を軸とした地域社会の活性化はもとより、河川環境管理の質的向上を目指します。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ  
川越新聞記者会 所沢記者クラブ

### <問い合わせ先>

関東地方整備局 荒川上流河川事務所  
電話：049-246-6360  
FAX：049-244-9077

武州ガス(株)  
電話：049-241-9590  
FAX：049-242-0778

(公財)埼玉県生態系保護協会  
電話：048-645-0570

メール：[iruma-project@ecosys.or.jp](mailto:iruma-project@ecosys.or.jp)

副所長 田中 芳貴 (内線：205)  
流域治水課 課長 柳川 一博 (内線：351)

企画部長 大久保 忠夫  
企画チームマネージャー 須部 洋史

事務局長 前田 博之

(別紙)

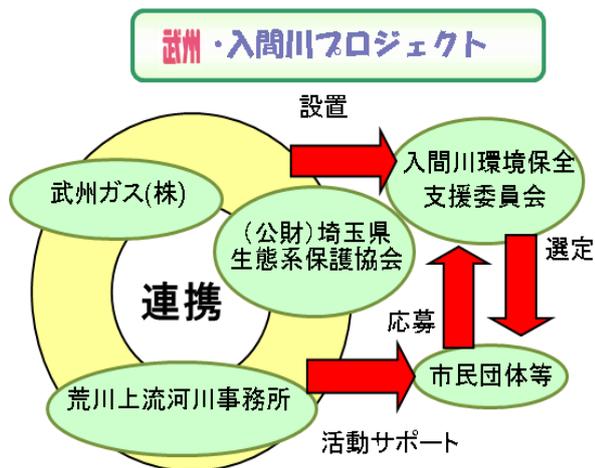
令和6年度 助成団体一覧

番号	団体名	活動タイトル	団体種別	代表者	設立年	申請活動種別	活動期間	活動場所	主な助成希望内容
1	特定非営利活動法人 ジョイライフさやま	水辺周辺整備清掃と体験による環境保全	特定非営利活動法人	内田 貴夫	2014年	環境保全活動	2024年4月 ～2025年3月	狭山市柏原(入間川左岸)	外来植物の駆除 河畔林の下草刈り・清掃 子どもたちの自然体験活動
2	埼玉県立いずみ高等学校	ミツ又沼ビオトープの環境保全活動	高等学校	小林 幹弥	1962年	環境保全活動	2024年4月 ～2025年3月	川島町(入間川、荒川／ミツ又沼ビオトープ)	外来植物の駆除等現地研修(貸し切りバス) 在来植物の発芽・生育試験
3	特定非営利活動法人あゆみ あゆみ工房	入間川での生き物観察と外来種駆除活動	特定非営利活動法人	島田 信子	1997年	環境保全活動	2024年4月 ～2025年3月	川越市中老袋・上老袋(入間川／入間大橋上流右岸)	外来植物の抜き取り 自然観察・記録 ごみ拾い 活動報告
4	SUN JOY南小畔川	アレチウリ駆除と海プラごみ阻止活動	市民団体	安原 昭司	2013年	環境保全活動	2024年4月 ～2025年2月	川越市笠樺(南小畔川／田中橋～神明橋)	アレチウリ駆除 クワノキ等の除伐 プラごみ回収
5	特定非営利活動法人 はとやま環境フォーラム	鳩山における自然環境調査保全活動	特定非営利活動法人	愛場 謙嗣	2007年	自然環境調査	2024年4月 ～2025年3月	鳩山町(唐沢川)	水質調査(残留農薬分析) 活動展示パネル製作 分析報告書(2023年製作)の増刷 情報公開費用
6	特定非営利活動法人 荒川の自然を守る会	ミツ又沼ビオトープの自然環境管理作業	特定非営利活動法人	木ノ内 勝平	1991年	環境保全活動	2024年4月 ～2025年3月	上尾市、川島町、川越市境界付近(入間川、荒川／ミツ又沼ビオトープ)	外来植物の駆除、在来野草の保護・育成 ボランティア募集広告 草刈り機のレンタル 保険(チェーンソー保険代含む)
7	上尾の自然を守る教職員の会	ミツ又沼ビオトープの自然環境を楽しむ会	市民団体	赤羽 栄子	1998年	環境・体験学習	2024年4月 ～2025年3月	上尾市、川島町、川越市境界付近(入間川、荒川／ミツ又沼ビオトープ)	親子向け自然体験イベント(講師謝金、広報資料作成他) 湿地の保全管理作業
8	特定非営利活動法人 荒川流域ネットワーク	入間川一斉水質調査及びマップ作成	特定非営利活動法人	鈴木 勝行	1995年	自然環境調査	2024年4月 ～2025年3月	川越市・入間市・狭山市・鶴ヶ島市・坂戸市・日高市・嵐山町・鳩山町・ときがわ町他(入間川水系)	一斉水質調査マップの印刷、配布
9	川島町立つばさ南小学校	大好き！川島 ～自分たちでできること～	小学校	山崎 清美	2018年	環境保全活動	2024年4月 ～2025年3月	川島町(入間川、荒川／ミツ又沼ビオトープ)	ビオトープでの自然観察、外来種駆除、在来植物の育成等を通じた学習成果のとりまとめ 他校との交流活動 発表会
10	城西大学	ホトケドジョウ生息地のモニタリング	大学	藤野 陽三	1965年	自然環境調査	2024年4月 ～2025年2月	坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、毛呂山町(高麗川支流、高麗川に通じる水路、湧水池、阿諏訪川)	フィールド調査 環境DNA解析

## 1. 「武州・入間川プロジェクト」概要

「武州・入間川プロジェクト」は、武州ガス株式会社（企業者）、荒川上流河川事務所（河川管理者）、（公財）埼玉県生態系保護協会（有識者）が主体となり、入間川流域で環境保全活動を行っている市民団体等に、活動助成を行うものです。本プロジェクトは、これら三者の連携により、河川を軸にした地域社会の活性化と、河川環境管理の質的向上を目指します。

活動助成にあたっては、助成する市民団体等を募集し、別途学識者を含めた「入間川環境保全支援委員会」により助成団体を選定します。選定された団体に、助成金を交付（最大20万円）するだけでなく、必要により当該河川に関する情報提供、専門家、講師の派遣など活動をサポートいたします。



各主体からの支援内容は以下の通りです。

### 【武州ガス株式会社】

活動資金の提供（活動助成）等

### 【荒川上流河川事務所】

活動フィールドの提供、河川に関する講師の派遣・情報の提供、調査の共同実施

### 【公益財団法人埼玉県生態系保護協会】

市民団体等への指導・助言、専門家の派遣等

## 2. 助成対象期間

令和6年4月1日～令和7年3月1日の間に実施する活動

## 3. 選定結果

選定された団体名は別紙の通りです。

## 4. 令和5年度までの助成状況

武州・入間川プロジェクトでは平成22年度のプロジェクト開始以来14年間で累計 170団体の活動を助成し、助成総額は 23,566,722円となりました。



令和5年度武州・入間川プロジェクトの助成を受けた活動の様子

（魚類調査（小学校）／希少植物の保全活動（高等学校）／水質調査（特定非営利活動法人）

※今までの助成活動は、[https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo\\_index049.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo_index049.html)に掲載しております。